

天皇賜杯 第72回日本学生陸上競技対校選手権大会 兼 第22回ユニバーシアード日本代表選手最終選考競技会 大会要項

1. 主催 社団法人 日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟 神奈川陸上競技協会
3. 協賛 ミズノ株式会社
4. 協力 シチズン時計株式会社、サントリー株式会社
4. 期 日 平成15年7月4日(金)・5日(土)・6日(日)
5. 場 所 横浜国際総合競技場
小机競技場(ハンマー投)
横浜国際総合競技場発着周回コース(ハーフマラソン)
〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 TEL045-477-5000

6. 競技種目 男子23種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m
ハーフマラソン 110mH 400mH 3000mSC 4×100m 4×400m
10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投
やり投 十種競技

- 女子21種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m
100mH 400mH 4×100m 4×400m 5000mW 走高跳
棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 七種競技

7. 出場資格
- 1) 平成15年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
 - 2) 平成14年1月1日より申し込み期日前日までに、別紙の標準記録に達した者で以下の条件を満たした場合は1校につき3名まで出場できる。
 - 3) a, 各種目地区IC優勝者および北日本IC、西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者1校1名(1チーム)まで出場できる。(同校に地区IC優勝者、北日本IC・西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者がいた場合は、どちらか1名とする。)
 - b, a項に加え、標準記録Aに達した者がいれば、もう2名出場までできる。ハーフマラソンおよび競歩については、標準記録Bに達した者はもう2名まで出場できる。(下図参照のこと)

1) ハーフマラソン・競歩以外の種目			
B			
B	A		
B	A	A	
	A		
	A	A	
	A	A	A

2) ハーフマラソン・競歩		
B		
B	B	
B	B	B

地区ICおよび北日本IC・西日本ICの
優勝者はB標準突破者と同様の扱いとする。

- c, リレーについては平成15年度登録競技者の編成による記録でなければならない。
- 4) 4×100m、4×400mは、1校1チームとし6名連記できる。
 - 5) 同一人の出場種目数の制限はない。

8. 参加料 出場者1種目1名につき2000円、リレーは1チーム3000円とする。
9. 申込期日 平成15年 月 日(地区学連締切日)
10. 申込方法 1) 各大学は、地区学連の指定期日までに下記の種類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。
また、FAX、電話等による申し込みは一切受け付けない。
2) 地区学連は、加盟大学の書類を取りまとめの上、平成15年6月18日(水)12時までに
大会事務局に必着のこと。
- | | | | |
|------|---------|-----|----|
| 申込書類 | 団体申込一覧表 | 様式1 | 3部 |
| | 個人申込書 | 様式2 | 1部 |
| | リレー申込書 | 様式3 | 1部 |
| | 種目別一覧表 | 様式4 | 1部 |
- 3) ハーフマラソン出場者は、必ず健康に関する誓約書(様式5)を添付して申し込むこと。
4) 参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は各地区学連のものとする。
5) 送り先
〒150 0001 東京都渋谷区神宮前2 13 16 リプレイジ 神宮前1F
社団法人 日本学生陸上競技連合 宛
TEL 03 3404 4990
FAX 03 3404 0209
11. 得点方法 各種目とも、1位 8点、2位 7点、3位 6点、4位 5点、5位 4点、6位 3点、
7位 2点、8位 1点 とする。
12. 表彰 1) 男子総合優勝校には天皇賜杯、女子総合優勝には秩父宮妃杯を授与する。
13. 監督・代表者
会 議 平成15年7月3日(木)15時より横浜国際総合競技場会議室にて行う。
プログラム、ナンバーカード他関係書類を交付し、注意事項連絡、プログラム訂正を行う。(指導
責任者は必ず出席のこと)なお、この会議において棄権を申し出た場合はこれを承認する。
14. 宿泊 宿泊については東急観光(株)が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を
参照のこと。(所属学連の問い合わせのこと)
15. 注意事項 1) すべての競技は平成15年度本連合の定めた競技規則、ならびに本大会申し合わせ事項によ
り実施する。
2) やむなく棄権する場合は棄権届を提出すること。但し、届けた種目に限り棄権とする。
3) 各大学の部長(1名)、監督(1名)、コーチ(若干名)、マネージャー(エントリー選手
10名につき1名)、トレーナー(本連合が認めた者)選手は本連合が定めるリボン(代表
者会議において配布)により更衣室への入場を認める
4) 用器具は、主催者の用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポールは各自で用意し、各自
の責任において輸送すること。
5) 計時はトラック競技全種目電気計時(1/100秒)で行う。
6) 5000m、10000m、競歩の給水については天候に応じて主催者が水とスポンジを用
意する場合がある。(ハーフマラソンについては給水を行う)
7) ハーフマラソンは横浜国際総合競技場発着の横浜国際総合競技場周回道路において行う。各
大学の応援についても秩序ある行動と社会通念上の配慮を指導すること。
8) ハンマー投(予選、決勝)は横浜国際総合競技場隣接の小机競技場で行う。
9) 練習は小机競技場と横浜国際総合競技場1階の雨天練習場を使用できる。但し小机競技場で
ハンマー投(予選、決勝)実施時には横浜国際総合競技場雨天走路を使用すること。
10) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わ
ない。
11) 開会式は 7月 4日(金)11時
閉会式は 7月 6日(日)競技終了後行う。
12) 各大学は開・閉会式の際、部旗を1旗用意すること。なお、優勝校(男子、女子)は校歌を
吹奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。